

ダリア親株における低温遭遇の影響

【題名の補足】 低温遭遇した親株由来の穂を定植すると、切り花品質に影響を与える

背景・目的

- ダリアは切り花生産に使用した株から採取した穂からの栽培を繰り返すと、切り花品質が低下する傾向にあります。
- 低温による草勢回復効果の有無を確認するため、低温遭遇させた親株から得た穂を利用して切り花の品質を調査します。

成果の内容

- 主要3品種で調査しました。
- 「かまくら」では、低温区は慣行区に対し、露心花の発生等により1番花の商品化率が低下します。また、低温区の舌状花数、管状花数が減少します。3番花で舌状花数の減少や切り花調整重の低下がみられます。
- 「黒蝶」では、低温区は慣行区に対し、奇形花等の発生により1番花の商品化率が低下します。また、切り花長は向上しますが開花が遅くなります。2番花では茎径の低下、3番花では花の小型化、花弁数の減少や切り花重の低下がみられます。
- 「純愛」では、低温区は慣行区に対し、商品化率は低下しないものの1番花の切り花重、茎径の低下が見られます。また、2番花で開花の遅れや花の小型化が発生します。3番花では茎径が向上し、花弁数が増加します。

表1 1番花における各品種の商品化率

品種	試験区	商品化率
かまくら	慣行区	70.6%
	低温区	52.7%
黒蝶	慣行区	68.0%
	低温区	30.0%
純愛	慣行区	88.2%
	低温区	89.5%

表2 1番花における各品種の切り花形質

品種	試験区	平均 開花日 (月/日)	到花 日数 (日)	切花長 (cm)	切花重 (g)	調整重 (g)	基部茎径 (mm)
かまくら	慣行区	10/26	56	136.3	143.7	90.2	8.5
	低温区	10/29	59	141.1	122.4	77.5	7.1
黒蝶	慣行区	11/7	68	116.7	115.8	80.7	9.6
	低温区	11/11	72	126.6	114.6	74.9	10.0
純愛	慣行区	11/11	72	140.5	143.1	79.9	9.6
	低温区	11/7	68	138.9	128.3	72.2	8.7

成果の活用方法(又は期待される効果)

- 親株の低温遭遇は商品化率を低下させ、品質に悪影響が見られました。
- 次年度定植苗の親株として用いる株を低温遭遇させない管理をすることで、切り花品質の低下を抑制することができます。
- 普及対象地域は県内沿岸地域です。

留意点

- 親株の低温区は最低気温2℃、慣行区は最低気温10℃で管理しています。
- 品質調査の定植日は2016年8月31日、日長は14時間、最低気温は10℃で管理しています。